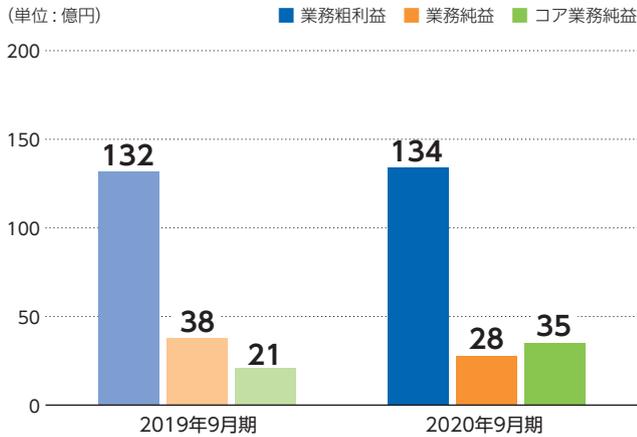


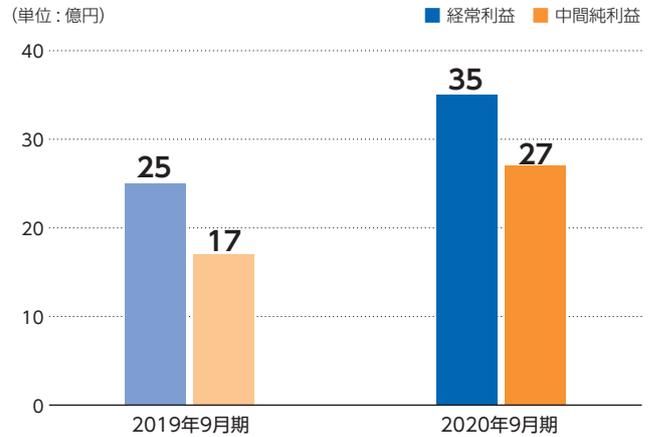
2020年9月期の決算についてお知らせします。

■ 主要損益の状況

業務粗利益・業務純益・コア業務純益〈単体〉

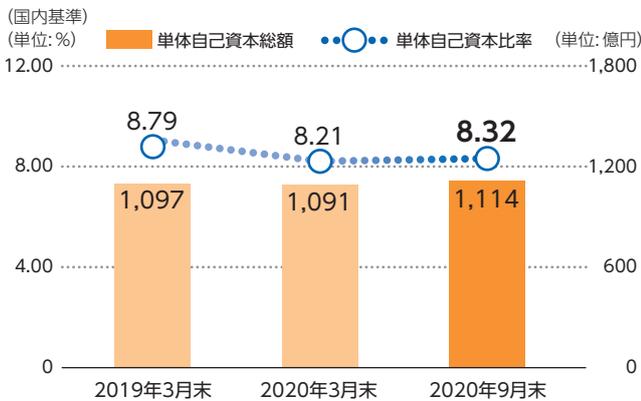


経常利益・中間純利益〈単体〉



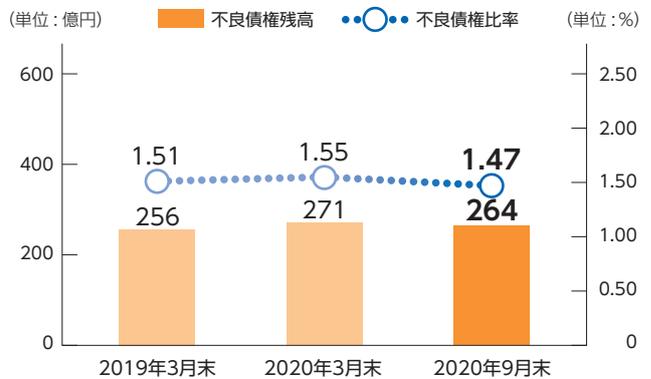
資金利益は増加したものの、役員利益の減少や国債等債券売却損の増加により、業務粗利益は前年同期比でほぼ横ばいとなりました。一方で、前年同期は戻入となった一般貸倒引当金が繰入となったことから業務純益は減少となりました。また、銀行本来の利益を示すコア業務純益については、資金利益の増加を主因に前年同期比増加となりました。これらに加えて、不良債権処理額が減少したことから、経常利益・中間純利益ともに前年同期比増益となりました。

■ 自己資本比率〈単体〉



2020年9月末の単体自己資本比率は、当期純利益の増加を主因とした自己資本総額の増加により、8.32%と前期比増加しており、健全性を十分に確保しています。

■ 不良債権



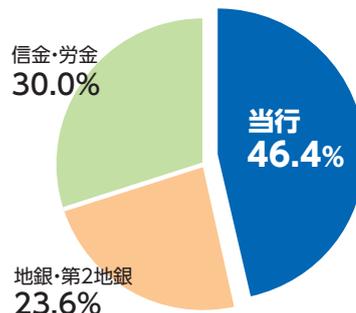
2020年9月末の不良債権残高は、お取引先の経営改善のお手伝いや不良債権処理を進めたことで前年度末比7億円減少し、264億円となりました。また、総与信に占める割合は、前年度末比0.08ポイント改善して1.47%となりました。

■ 預金・貸出金シェア

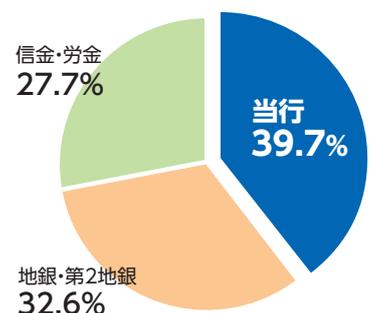
(2020年9月末現在)

お客さまからの高い信頼に支えられて、福井県内において、福井銀行は、預金・貸出金ともにトップシェアを保っています。引き続き、地域のみなさまから信頼される銀行を目指してまいります。

福井県内の預金シェア



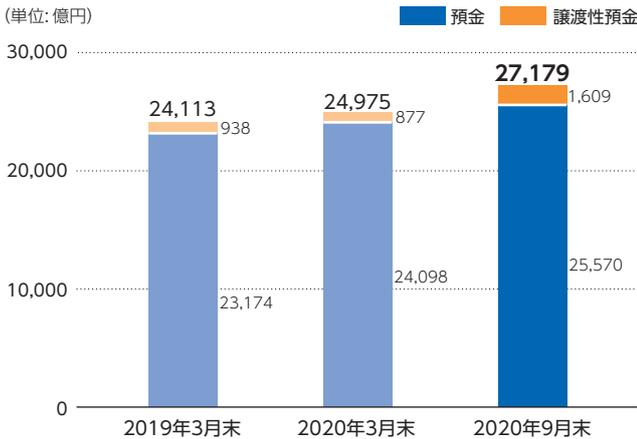
福井県内の貸出金シェア



■ 預金等残高・預り資産残高

預金等

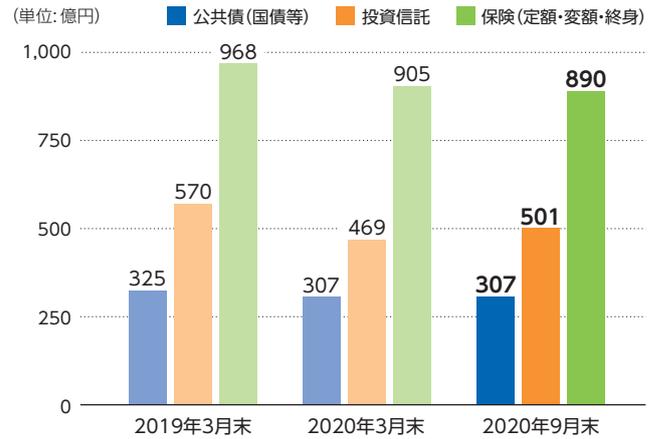
(単位: 億円)



譲渡性預金を含む預金等は、法人・個人・公金が増加したことから、全体で期中2,204億円増加し期末残高は2兆7,179億円となりました。

預り資産

(単位: 億円)



投資信託は期中32億円増加し期末残高は501億円となりました。保険(定額・変額・終身・養老)は、期中15億円減少し期末残高は890億円となりました。

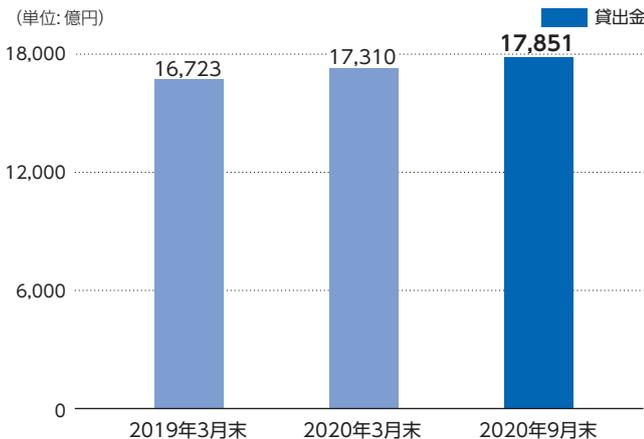
公共債(国債等): 額面ベース 投資信託: 純資産残高ベース(口数×基準価額÷1万口)

保険(定額・変額・終身): 払込保険料の合計額

■ 貸出金残高・消費者ローン残高

貸出金

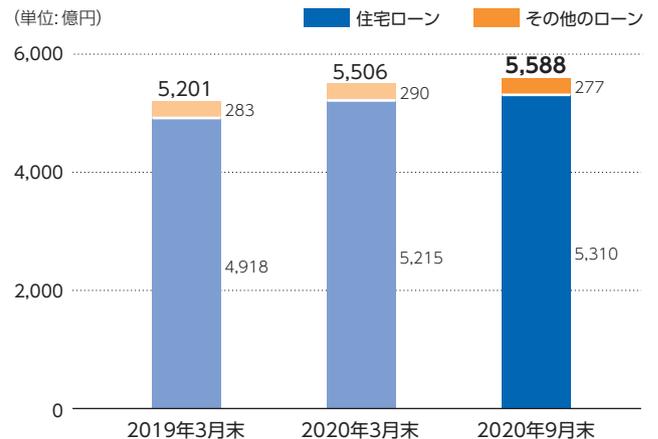
(単位: 億円)



貸出金は、消費者ローンを含む中小企業等向け貸出が増加したことから、期中541億円増加し期末残高は1兆7,851億円となりました。

消費者ローン

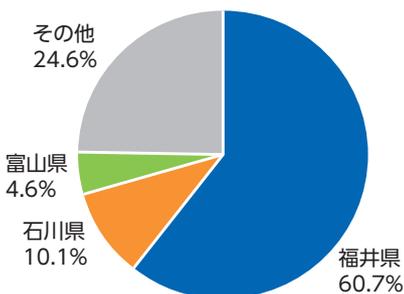
(単位: 億円)



消費者ローンは、期中82億円増加して期末残高は5,588億円となりました。うち住宅ローンは、期中95億円増加して期末残高は5,310億円となりました。

■ 貸出金の地域別内訳・中小企業等向け貸出金

貸出金残高の地域別内訳



2020年9月期	(単位: 億円)
福井県	10,836
石川県	1,807
富山県	818
その他	4,389
合計	17,851

北陸3県内での貸出金は1兆3,461億円、(うち福井県内1兆836億円)であり、貸出金全体の75.4%(うち福井県内60.7%)となっております。

中小企業等向け貸出金

(単位: 億円)



中小企業等向け貸出金残高は期中456億円増加し1兆1,244億円となり、総貸出金残高の62.9%となりました。また、貸出先は、期中2,088先減少し72,253先となりました。